

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分コード	01	08	01	01	339	51
	事業名	0502 県営土木事業負担金	所属	190500	建設部建設1課	連絡先(記入者)						
	基本施策	50 市内道路網を機能的に強化する	小林 伸太郎 43 - 2326									

概要	事業概要	県営事業により計画路線の整備、及び急傾斜地崩壊対策事業を実施する。				事業期間					
	根拠法令・要綱等	地方財政法、都市計画法、急傾斜地法		審議会・委員会等		平成	年度 ~ 平成	年度			
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入				分掌事務番号				
	対象(誰を、何を)	計画路線を利用する人、急傾斜地崩壊対策事業を実施する箇所の受益者				※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	計画路線を整備することにより通行がスムーズになり、安心して運転できる。また、急傾斜地崩壊対策事業実施箇所周辺の受益者等の安全性の向上を図る。									
	H24実施内容	都市計画街路事業 ・伊賀上野新都市線 ・服部橋新都市線(大関食堂~伊賀白鳳高校) 急傾斜地崩壊対策事業、急傾斜地災害緊急対策事業 ・愛田地区									

指標	活動指標	三重県、地元との連絡調整	回	実績値		目標値		説明	
				H23	H24	H25	H26		
	成果指標	進捗率(道路工、詳細設計他)	%	目標	5.0	目標	5.0	5.0	5.0
				実績	8.0	実績	7.0	100.0	100.0

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。										
	[収入]	項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		使用料・手数料									
	国費(補助率)										
	県費(補助率)										
	地方債										
	その他	609	900	5,600	500	500	500	500	500	急傾斜地崩壊対策事業の地元負担金	
	合計(A)	609	900	5,600	500	500	500	500	500	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]	事業費									都市計画街路事業(三重県が実施する事業費【公換金を含む】の1/6) 急傾斜地崩壊対策事業(三重県が実施する事業費の1/5) 急傾斜地災害緊急対策事業(三重県が実施する事業費の1/10)
		事業費	26,980	15,360	16,200	46,833	34,333	17,667	17,667		
その他事務経費											
小計(B)		26,980	15,360	16,200	46,833	34,333	17,667	17,667	特記事項記入欄(有資格者の状況等)		
人件費	正規職員	人数	0.3人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人		
	人件費	1,443	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数									
人件費											
小計(C)	1,443	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155			
合計(D=(B+C))	28,423	16,515	17,355	47,988	35,488	18,822	18,822	18,822	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)		
[収支]	一般財源充当額(D-A)	27,814	15,615	11,755	47,488	34,988	18,322	18,322			
	(うち繰越金)	1,700	9,048								
	※前年度比	—	△ 12,199	△ 3,860	35,733	△ 12,500	△ 16,666	0			
対象者あたり一般財源充当額											

必要性	5. 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	○	負担金・補助金・交付金
	委託・指定管理(非公募・随意)		直接実施(契約・交付事務を除く)
※委託内容及び委託先の存在			
昨年度記載した改善策	事業主体である三重県と連携し、当該年度内での事業進捗に支障の出ないよう地元調整等図っていく。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 円滑に事業が進捗するよう地元調整を図った。
現時点における課題及び課題に対する改善策	事業の進捗を図るには、地元関係者の理解・協力が不可欠である。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	中山 良憲	現状維持	引続き都市計画街路事業及び急傾斜地崩壊対策事業、急傾斜地災害緊急対策事業を継続して実施することにより、市民生活の向上を図っていく必要があり、現状維持としたい。

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分 コード	会計 01	款 08	項 02	目 03	細目 343	細々目 51
	事業名	0510		臨時地方道整備事業								
	基本施策	50	市内道路網を機能的に強化する	所属	190500	建設部建設1課 事業推進係	連絡先(記入者) 赤尾 隆司 43-2323 (内線) 236					

概要	事業概要	市道の現況は狭あい道路が多く通行に支障をきたしており、市街地では歩行者・自転車が安心して移動出来ることや、農村集落では集落の中心まで緊急車両が容易に進入できる道路を整備する。						事業期間					
	根拠法令・要綱等	道路構造令			審議会・委員会等			平成	16	年度	～	平成	年度
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号	2			
	対象(誰を、何を)	市民等道路利用者			※対象 件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値			
	成果(どうする)	生活道路を整備し、人や車が安全に移動することが出来る住環境をつくる。											
H24 実施 内容	道路改良工事2路線(市道西谷尻平田線、市道山神音羽線)												

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
	活動指標	実施した箇所数	件	目標 5 実績 6	目標 3 実績 2	4		3	
成果指標	市道改良率	%	目標 26.35 実績 26.25	目標 26.56 実績 26.55	26.77		26.98	市道改良率(幅員5.5m以上の市道延長/市道総延長)による整備状況を判断する。	

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
[収入]	使用料・手数料								
	国費(補助率)								
	県費(補助率)								
	地方債	42,200	3,300	7,800	8,000	8,000	8,000	8,000	
	その他	3,050	4,335	10,764	12,000	12,000	12,000	12,000	
	合計(A)	45,250	7,635	18,564	20,000	20,000	20,000	20,000	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	事業費								
	測量設計業務委託費	12,574	2,257	2,500	2,000	2,000	2,000	2,000	
	工事費	28,852	5,113	14,500	15,000	15,000	15,000	15,000	
	用地費	1,063			1,500	1,500	1,500	1,500	
	補償費	1,713		700	700	700	700	700	
	その他事務経費	1,048	265	864	800	800	800	800	
	小計(B)	45,250	7,635	18,564	20,000	20,000	20,000	20,000	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費									
正規職員	人数	2.2人	2.2人	2.2人	2.2人	2.2人	2.2人	2.2人	
	人件費	12,500	12,709	12,709	12,709	12,709	12,709	12,709	
臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人	
	人件費								
小計(C)		12,500	12,709	12,709	12,709	12,709	12,709	12,709	
合計(D=(B+C))		57,750	20,344	31,273	32,709	32,709	32,709	32,709	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)	12,500	12,709	12,709	12,709	12,709	12,709	12,709	
	(うち繰越金)								
	※前年度比	—	209	0	0	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額								

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	国県道の整備率に比べ本市の道路改良率は26%台と低い水準にある。市内には車両の対向不能の道路も多いことから、交通の円滑化に支障が出る。	(概ね)順調	
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
	事業効果を高めるため、緊急性を判断した工事採択を行う。		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	現状幅員や補完道路の有無等の状況を判断して事業採択に努め、平成27年度の市道の改良率を26.8%まで高める。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 道路改良2路線の道路整備を実施した。
現時点における課題及び課題に対する改善策	道路改良整備要望が多く寄せられ工事採択待ちが多く残っている。また、一部ではあるが、拡幅された道路においても土地の境界の不一致や、相続困難による市道の未登記部分の登記不能などの事案が発生している。 現状幅員や補完道路の有無等の状況を判断して事業採択に努め、平成27年度の市道の改良率を27.2%まで高める。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	中井 秀幸	現状維持	市道においては改良率が26.5%にとどまっていることから、狭あい箇所や未改良箇所が多い為、市民生活に密着した道路整備が強く望まれる。

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分 コード	会計 01	款 08	項 02	目 03	細目 343	細々目 51
	事業名	0511		臨時地方道整備事業								
	基本施策	50	市内道路網を機能的に強化する	所属	191000	建設部建設2課 事業推進係	連絡先(記入者) 森中 徹 43 - 2329					

概要	事業概要	市道の現況は狭隘道路が多く通行に支障をきたしており、農村集落では集落の中心まで緊急車両が容易に入 入できる道路を整備する。						事業期間					
	根拠法令・要綱等	道路法、道路構造令				審議会・委員会等		平成	16	年度	～	平成	年度
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号		1	2	
	対象(誰を、何を)	市民、道路利用者等				※口 対象 件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値		
	成果(どうする)	生活道路を整備し、人や車が安全に移動することが出来る住環境をつくる。											
H24 実施 内容	舗装改修工事5路線(阿山ハイツ、楨山、千貝、西湯舟、別府) 側溝整備工事2路線(上阿波、下阿波) 測量設計業務1路線(新堂)												

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
	活動指標	実施した箇所数	件	目標 8.0 実績 8.0	目標 7.0 実績 8.0	4.0	11.0		
成果指標	市道改良率	%	目標 26.35 実績 26.25	目標 26.56 実績 26.55	26.77	26.98	市道改良率(幅員5.5m以上の市道延長/ 市道総延長)により整備状況を判断する。		

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
[収入]	使用料・手数料								
	国費(補助率)								
	県費(補助率)								
	地方債	19,200	10,400	12,000	54,000	54,000	54,000	54,000	道路橋りょう整備事業
	その他								
	合計(A)	19,200	10,400	12,000	54,000	54,000	54,000	54,000	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	測量設計委託料	1,105	371	800	3,000	3,000	3,000	3,000	
	工事費	17,602	8,466	13,400	54,000	54,000	54,000	54,000	
	用地取得費	3,267			1,000	1,000	1,000	1,000	
	補償費				500	500	500	500	
	工事負担金		2,178						
	土地借上料	1,203							
	その他事務経費	701	560	531	1,500	1,500	1,500	1,500	
	小計(B)	23,878	11,575	14,731	60,000	60,000	60,000	60,000	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費	正規職員	人数	1.5人	1.5人	1.5人	2.5人	2.5人	2.5人	2.5人
		人件費	8,523	8,666	8,666	14,443	14,443	14,443	14,443
	臨時・嘱託・ 再雇用職員	人数							
		人件費		1,254					
	小計(C)	8,523	9,920	8,666	14,443	14,443	14,443	14,443	
	合計(D=(B+C))	32,401	21,495	23,397	74,443	74,443	74,443	74,443	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	13,201	11,095	11,397	20,443	20,443	20,443	20,443	
	※前年度比 対象者あたり一般財源充当額	—	△ 2,107	302	9,046	0	0	0	

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
国・県道の整備率に比べ本市の道路改良率は26.55% 台と低い水準にある。市内には車両の対向不能の道路も 多いことから、交通の円滑化に支障が出る。	(概ね) 順調		事業効果を高めるため、緊急性を判断した工事採択 を行う。
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法 (該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び 委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度 記載した 改善策	現状幅員や補完道路の有無等の状況を判断して事業採択に 努め、平成27年度の市道の改良率を26.8%にまで高める。	左記 改善策 への 取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 道路改良8路線の道路整備を実施した。
現時点における課題 及び 課題に対する改善策	現時点における課題:道路の改良整備要望が多く寄せられているが、その工事採択が遅れている。 課題に対する改善策:現状幅員や補完道路の有無等の状況を判断して事業採択に努め、平成27年度の市道の改良率を27.2%まで高める。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	内田 泰成	現状維持	国・県道の道路改良率が70%台に達していることに比べ、市道においては26.25%にとどまっていることか ら、未だ狭あい箇所・未改良道路は多く、今後も継続し整備を進める必要がある。

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分 コード	会計 01	款 08	項 02	目 03	細目 344	細々目 56
	事業名	0512		佐那具千歳線道路改良事業								
	基本施策	50	市内道路網を機能的に強化する	所属	190500	建設部建設1課 事業推進係	連絡先(記入者) 赤尾 隆司 43-2323 (内線) 236					

概要	事業概要	本路線は国道25号線(伊賀市佐那具町)から市道千歳千戸線を経て国道163号線(伊賀市千戸)に至る広域幹線道路である。名阪国道ボックス北側からの道路幅員が2.5mと非常に狭小であるため、2車線道路に整備する計画である。伊賀市佐那具、千歳地内 計画延長950m、道路幅員7.0m 総事業費460,000千円						事業期間				
	根拠法令・要綱等	道路構造令、アスファルト舗装要綱				審議会・委員会等						
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号	2		
	対象(誰を、何を)	大山田地区からJR佐那具駅、工業団地へアクセスする人				※対象 件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値	
	成果(どうする)	移動時間が短縮され、主要道路の交通渋滞の解消が図られる。										
H24 実施 内容	道路用地500㎡を取得し、道路改良工事を130m施工した。											

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明	
			H23	H24	H25	H26		
	活動指標	道路改良延長	m	目標 実績	目標 実績	130 130	100	
成果指標	道路整備による作業進捗	%	目標 実績	目標 実績	50.0 1.8	72.0 25.0	100.0	事業効果を高めるため短期間での事業完了に努める(執行済事業費/総事業費)

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費 (補助率 55.0%)	1,650	19,800	68,750						
	県費 (補助率)									
	地方債	1,300	19,800	56,200						
	その他	120	98	3,050						
	合計(A)	3,070	39,698	128,000	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	事業費	測量設計業務委託費	3,001	2,816	5,000					
		工事費		30,814	115,000					
		用地費		5,506						
		補償費			5,000					
		その他事務経費	69	562	3,000					
		小計(B)	3,070	39,698	128,000	0	0	0	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	人件費	正規職員	人数	0.5人	1.5人	1.5人	人	人	人	人
	人件費	2,841	8,666	8,666	0	0	0	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人	
	人件費									
	小計(C)	2,841	8,666	8,666	0	0	0	0	0	
	合計(D=(B+C))	5,911	48,364	136,666	0	0	0	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	2,841	8,666	8,666	0	0	0	0	0	
	(うち繰越金) ※前年度比	—	5,825	0	△ 8,666	0	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
今年度完成予定であり、過去投資額の効果が発揮できない状況になる。	(概ね)順調		
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
	事業効果を高めるため、短期間での事業完了に努める。		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法 (該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度 記載した 改善策	代替地の確保を行い、工事の進捗を図る。平成25年度完成を目指して取組む。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 鋭意交渉をした。
現時点における課題 及び 課題に対する改善策	用地交渉が、難航している。 代替地の要望が有り、確保に努める。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	中井 秀幸	現状維持	本路線は国道25号線(伊賀市佐那具町)から市道千歳千戸線を経て国道163号(伊賀市千戸)にいたる広域幹線道路で、工事は整備区間の66%が完了し既に供用開始してる為、速やかに工事を完成させ交通アクセスの向上を図ることが必要である。

基本情報	コード	名称	事業類型	III	整備事業	会計区分 コード	会計 01	款 08	項 02	目 03	細目 344	細々目 69
	事業名	0513										
	基本施策	50	市内道路網を機能的に強化する	所属	190500	建設部建設1課 事業推進係	連絡先(記入者) 赤尾 隆司 43-2323 (内線) 236					

概要	事業概要	市道四十九ゆめが丘線を起点とし、市道喰代比自岐下川原線(広域農道)につながり、ゆめが丘住宅地と摺見、青山地区を結ぶ幹線道路を新設整備する。伊賀市摺見・上友生地内、計画延長L=1,400m、道路幅員W=12.0m 総事業費723,000千円						事業期間 平成 22 年度 ~ 平成 26 年度			
	根拠法令・要綱等	道路構造令、アスファルト舗装要綱				審議会・委員会等					
	補助金支出	無 ※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号 2			
	対象(誰を、何を)	市南部地区から市街地中心部へアクセスする人				※対象件数	単位 m	H23実績 100	H24実績 700	H25見込 700	H26目標値 600
	成果(どうする)	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路として利用しやすくなる。									
H24実施内容	道路改良工事L=100m施工										

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明		
			H23	H24	H25	H26			
活動指標	道路改良延長	m	目標 実績	目標 実績	50 50	700	650		
成果指標	道路整備による作業進捗	%	目標 実績	目標 実績	12.0 6.0	46.0 19.2	92.2	100.0	事業効果を高めるため短期間での事業完了に努める(執行済事業費/総事業費)

	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
[収入]	使用料・手数料								
	国費 (補助率 55.0%)	2,750	46,978	264,000	28,000				
	県費 (補助率)								
	地方債	2,200	46,900	264,000	28,000				
	その他	150	78						
	合計(A)	5,100	93,956	528,000	56,000	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	事業費								
	測量設計業務委託費	5,015	6,311	1,000					
	工事費		19,298	423,000	54,400				
	用地費		61,632	88,000					
	補償費		4,922	1,000					
	その他事務経費	85	1,793	15,000	1,600				
	小計(B)	5,100	93,956	528,000	56,000	0	0	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費									
正規職員	人数	1.5人	1.5人	1.5人	1.5人	人	人	人	
	人件費	8,523	8,666	8,666	8,666	0	0	0	
臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人	
	人件費								
	小計(C)	8,523	8,666	8,666	8,666	0	0	0	
	合計(D=(B+C))	13,623	102,622	536,666	64,666	0	0	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	8,523	8,666	8,666	8,666	0	0	0	
	※前年度比 対象者あたり一般財源充当額	—	143	0	0	△ 8,666	0	0	

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	現状では、2車線の道路に接続していない為、事業を廃止すると、今までの事業投資が無駄になる。	(概ね)順調	
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
	事業効果を高めるため、短期間での事業完了に努める。		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法 (該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	公図混乱ヶ所の地図訂正申請、用地取得並びに立木等(獣害柵)補償交渉を推進させる。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。
			公図混乱ヶ所の地図訂正申請、用地取得並びに立木等(獣害柵)補償がほぼ終了したので、本格的に工事着手する。
現時点における課題及び課題に対する改善策	今年度、狭い施工箇所での繰越を含む高額な工事費となっているが、工期短縮を図る為複数での発注を予定しており、スムーズな工事施工が必要である。 スムーズな工事施工する為、発注方法を慎重に検討する。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	中井 秀幸	現状維持	青山地域とゆめが丘・名阪国道、さらに中心市街地を結ぶ「伊賀市の南北軸となる幹線道路」で、機能・有効性は特に高く、交通アクセスを高める為計画通りに進めることが必要である。

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分 コード	会計 01	款 08	項 02	目 03	細目 344	細々目 76
	事業名	0560		伊勢路とがの奥鹿野線道路改良事業								
	基本施策	50	市内道路網を機能的に強化する	所属	191000	建設部建設2課 事業推進係	連絡先(記入者) 森中 徹 43 - 2329					

概要	事業概要	市道伊勢路とがの奥鹿野線は、伊勢路地区と奥鹿野地区を結ぶ主要路線であるが、現状は柏尾川に沿ってカーブが連続する狭い道路で、見通しが悪く通行に支障を来している。これを解消するため、道路改良工事を行う。 事業概要 延長L=1,736.0m 道路幅員W=4.0m(5.0m)						事業期間 平成 18 年度 ~ 平成 26 年度				
	根拠法令・要綱等	道路法、道路構造令、アスファルト舗装要綱				審議会・委員会等						
	補助金支出	有 <input type="checkbox"/> ※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号				
	対象(誰を、何を)	国道165号線から奥鹿野地内へアクセスする人				※対象件数	単位		H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路として利用しやすくなる。ひいては、地域の活性化に繋がる。										
H24実施内容	用地測量及び路線測量業務委託 1式											

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
活動指標	道路改良延長	m	目標 実績	目標 実績	0.0 0.0	600.0	600.0		
成果指標	道路整備による作業進捗	%	目標 実績	目標 実績	20.0 17.8	54.3	81.7	事業効果を高めるため短期間での事業完了に努める。(執行事業費/総事業費)	

	項目	単位	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。						特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
			H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額		H29計画額
[収入]	使用料・手数料									
	国費 (補助率 55.0%)			11,000	8,250	5,500			社会資本整備総合交付金	
	県費 (補助率)									
	地方債		10,000	9,500	7,125	4,750			道路橋りょう整備事業	
	その他									
	合計(A)	0	10,000	20,500	15,375	10,250	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	測量設計委託料		8,000	10,000						
	工事費		1,957	10,000	15,000	10,000				
	その他事務経費	246	190	500	375	250				
	小計(B)	246	10,147	20,500	15,375	10,250	0	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
	人件費	人数	人	2.0人	1.5人	1.0人	人	人	人	
	人件費	人	0	11,554	8,666	5,777	0	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人		
	人件費	人	人	人	人	人	人	人		
	小計(C)	0	11,554	8,666	5,777	0	0	0		
	合計(D=(B+C))	246	21,701	29,166	21,152	10,250	0	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	246	11,701	8,666	5,777	0	0	0		
	(うち繰越金)		8,120							
	※前年度比	—	11,455	△ 3,036	△ 2,889	△ 5,777	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	他地区を結ぶ貴重な生活道路であるため、通行に支障を来すばかりか、地域の活性化にも多大な影響がある。	やや遅れ	公図混乱地域であることから、用地立会い準備に日数を要し年度内に立会いが完了できなかった。
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
	事業効果を高めるため、短期間での事業完了に努める。		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	公図混乱により用地の分筆登記が不可能である。その為、全線を2車線での整備が難しく、奥鹿野側(整備済)から国道165号線間の未整備区間については、部分的に拡幅整備を進める。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 整備方針(部分拡幅)は決定したが、公図混乱地域であることから年度内に用地調査が完了できなかった。
現時点における課題及び課題に対する改善策	現時点における課題: 早期に用地調査を完了させ、計画図面を作成する。 課題に対する改善策: 地権者と連絡を取り早期に立会いする。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	内田 泰成	現状維持	国道165号線から奥鹿野地区へのアクセス道路であることから、通行者の安全確保はもとより、地域の活性化と地域住民の交通利便を図るうえでも計画どおり進める必要がある。

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分 コード	会計 01	款 08	項 02	目 03	細目 908	細々目 51
	事業名	0561		依那古友生線道路改良事業								
	基本施策	50	市内道路網を機能的に強化する	所属	190500	建設部建設1課 事業推進係	連絡先(記入者) 赤尾 隆司 43-2323 (内線)236					

概要	事業概要	本市道は農免道路からゆめが丘住宅地南西端へ通じる舗装幅員3mの見通しの悪い1車線道路であり、事故が多発している。対面通行ができるような道路整備を行い、安全安心に通行できるよう改善を図る。伊賀市市部地内 計画延長L=780m 総事業費85,000千円						事業期間						
								平成	24	年度	～	平成	26	年度
	根拠法令・要綱等	道路構造令、アスファルト舗装要綱				審議会・委員会等								
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号		2			
	対象(誰を、何を)	市南部地区から市街地中心部へアクセスする人				※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値			
						m		330	250	200				
成果(どうする)	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路として利用しやすくなる。													
H24実施内容	事業計画 道路拡幅改良 延長L=330m 道路幅員W=6.0m													

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明	
			H23		H24		H25	H26		
	活動指標	道路改良延長	m	目標	実績	目標	実績	330	250	200
成果指標	道路整備による作業進捗	%	目標	実績	目標	実績	54.0	74.0	100.0	事業効果を高めるため短期間での事業完了に努める(執行済事業費/総事業費)

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費 (補助率)									
	県費 (補助率)									
	地方債		10,660	49,400	19,000					
	その他		219	2,600	3,000					
	合計(A)	0	10,879	52,000	22,000	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	事業費	測量設計業務委託費		10,660	7,000					
		工事費			32,000	21,000				
		用地費			10,000					
		補償費			2,000					
		その他事務経費		219	1,000	1,000				
		小計(B)	0	10,879	52,000	22,000	0	0	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	人件費	正規職員	人数	人	1.0人	1.5人	1.5人	人	人	人
	人件費	人	0	5,777	8,666	8,666	0	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人	
	人件費	人								
	小計(C)	0	5,777	8,666	8,666	0	0	0		
	合計(D=(B+C))	0	16,656	60,666	30,666	0	0	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	0	5,777	8,666	8,666	0	0	0		
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	5,777	2,889	0	△ 8,666	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	農免道路が出来たことにより、この道路を利用してゆめが丘へアクセスする交通量が増加している中、事業を廃止するとこの支障ある状況を解消できない。	(概ね)順調	
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		事業効果を高めるため短期間での事業完了に努める
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	左記改善策への取組状況		【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。
現時点における課題及び課題に対する改善策	出来るだけ早期の完成が、望まれている。 H26年度完成で、事業実施している。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	中井 秀幸	現状維持	本市の産業、文化等の交流を一層推進する為、市域を短時間で結ぶ道路網の構築が重要であり、地域まちづくりの振興につながる道路整備が必要である。特に企業集積が進んだゆめが丘への通勤道路としての役割が高く、交通混雑の解消、アクセス時間の短縮につながる。

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分 コード	会計 01	款 08	項 02	目 03	細目 908	細々目 52
	事業名	0563		小田西明寺線道路改良事業								
	基本施策	50	市内道路網を機能的に強化する	所属	190500	建設部建設1課 事業推進係	連絡先(記入者) 赤尾 隆司 43-2323 (内線) 236					

概要	事業概要	本市道は昭和61年から取組みを行い、平成14年に一部道路整備が実施されたが、用地・補償が完了できなかったため未整備区間が残ることとなった。今回、用地・補償可能となったため、引き続いて都市計画道路の整備を進める。伊賀市小田町地内 計画延長L=180m W=12.0m 総事業費28,500千円						事業期間						
	根拠法令・要綱等	道路構造令、アスファルト舗装要綱			審議会・委員会等			平成	24	年度	～	平成	25	年度
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号	2				
	対象(誰を、何を)	市民等、道路利用者			※対象 件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値				
	成果(どうする)	生活道路を整備し、人や車が安全に移動することが出来る住環境をつくる。												
H24 実施 内容	測量設計業務委託 延長L=180m 道路幅員W=12.0m													

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明
			H23	H24	H25	H26	
	活動指標	道路改良延長	m	目標 実績	目標 実績	100 0	180
成果指標	道路整備による作業進捗	%	目標 実績	目標 実績	76.0 13.7	100.0	事業効果を高めるため短期間での事業完了に努める(執行済事業費/総事業費)

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費 (補助率)									
	県費 (補助率)									
	地方債		3,600	23,200						
	その他		289	1,320						
	合計(A)	0	3,889	24,520	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	事業費	測量設計業務委託費		3,815	3,000					
		工事費			8,000					
		用地費			5,000					
		補償費			8,000					
		その他事務経費		74	520					
		小計(B)	0	3,889	24,520	0	0	0	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	人件費	正規職員	人数	0.5人	1.5人	人	人	人	人	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人		
	小計(C)	0	2,889	8,666	0	0	0	0		
	合計(D=(B+C))	0	6,778	33,186	0	0	0	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	0	2,889	8,666	0	0	0	0		
	(うち繰越金) ※前年度比	—	2,889	5,777	△ 8,666	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
用地交渉が行詰り一部区間が未改良となっていた。今回地権者から協力の打診があったが、事業を廃止すると、将来的に未改良区間の解消ができない。	(概ね)順調		
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
	事業効果を高めるため短期間での事業完了に努める		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	左記改善策への取組状況		
	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。		
現時点における課題及び課題に対する改善策	出来るだけ早期の完成が、望まれている。本年度完成で、事業実施している。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	中井 秀幸	終了	本市の産業、文化等の交流を一層推進する為、市域を短時間で結ぶ道路網の構築が重要であり、地域まちづくりの振興につながる道路整備が必要である。特に島ヶ原・新居地区から中心市街地への基幹道路として交通混雑の解消、アクセス時間の短縮につながる。本年度で最終区間の整備を行い、事業を完成させたい。

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分 コード	会計 01	款 08	項 02	目 03	細目 908	細々目 53
	事業名	0565		四十九下友生線道路改良事業								
	基本施策	50	市内道路網を機能的に強化する	所属	190500	建設部建設1課 事業推進係	連絡先(記入者) 赤尾 隆司 43-2323 (内線) 236					

概要	事業概要	本市道は伊賀市南部地域から三重県伊賀庁舎への進入道路であり、四十九町地区の重要な生活道路である。現況道路幅員は3mと車同士の対向ができず交通渋滞を起こすことや、歩行者・自動車の通行の安全が危惧されていることから、改良するものである。伊賀市四十九町地内 計画延長L=360m 総事業費62,800千円						事業期間							
	根拠法令・要綱等	道路構造令、アスファルト舗装要綱			審議会・委員会等			平成 24 年度	～ 平成 26 年度						
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号	2					
	対象(誰を、何を)	市南部地域方面から三重県伊賀庁舎へアクセスする人				※対象 件数	m	H23実績		H24実績	100	H25見込	130	H26目標値	130
	成果(どうする)	通行がスムーズになり、また地域住民の生活道路として利用しやすくなる。													
H24 実施 内容	事業計画 道路拡幅改良 延長L=100m 道路幅員W=6.0m														

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明
			H23	H24	H25	H26	
	活動指標	道路改良延長	m	目標 実績	目標 実績	100 100	100 160
成果指標	道路整備による作業進捗	%	目標 実績	目標 実績	31.0 24.7	51.0 100.0	事業効果を高めるため短期間での事業完了に努める(執行済事業費/総事業費)

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費 (補助率)									
	県費 (補助率)									
	地方債		14,700	15,700	29,300					
	その他		817	900	1,400					
	合計(A)	0	15,517	16,600	30,700	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	事業費	測量設計業務委託費		1,351						
		工事費		11,102	11,200	30,000				
		用地費		2,808	5,000					
		補償費								
		その他事務経費		256	400	700				
		小計(B)	0	15,517	16,600	30,700	0	0	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
[人件費]	正規職員	人数	人	1.5人	1.5人	1.5人	人	人	人	
		人件費	0	8,666	8,666	8,666	0	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人	
		人件費	0	8,666	8,666	8,666	0	0	0	
	合計(D=(B+C))	0	24,183	25,266	39,366	0	0	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	0	8,666	8,666	8,666	0	0	0		
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	8,666	0	0	△ 8,666	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	四十九町地内の重要な生活道路であるが、車両の対向に苦慮していることから、廃止すると交通渋滞は解消できない。	(概ね)順調	
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
	事業効果を高めるため短期間での事業完了に努める		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	左記改善策への取組状況		
	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。		
現時点における課題及び課題に対する改善策	出来るだけ早期の完成が、望まれている。 H26年度完成で、事業実施している。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	中井 秀幸	現状維持	本市の産業、文化等の交流を一層推進する為、市域を短時間で結ぶ道路網の構築が重要であり、地域まちづくりの振興につながる道路整備が必要である。本路線は国道422号線から四十九町を経由し県庁へ至る主要道路として整備が必要である。

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分コード	01	08	02	03	908	55191
	事業名	2530 下柘植揃田線道路改良事業	所属	コード	名称	連絡先(記入者)						
	基本施策	50 市内道路網を機能的に強化する	191000	建設部建設2課 事業推進係	森中 徹 43 - 2329							

概要	事業概要	新堂小平地区から県道伊賀甲南線へ抜ける市道首谷線及び市道西之山3号線は、道路幅員が狭く車両の対抗が困難であり拡幅が難しいため、本市道を拡幅整備し改善を図る。 事業概要 施工延長 L=72.0m、幅員 W=4.0m						事業期間 平成 24 年度 ~ 平成 26 年度			
	根拠法令・要綱等	道路構造令、アスファルト舗装要綱			審議会・委員会等						
	補助金支出	無 ※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号 1 2			
	対象(誰を、何を)	新堂小平地区から県道伊賀甲南線へアクセスする人			※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値	
	成果(どうする)	車両の往来等が安全且つ容易になるなど、生活道路としての機能が向上する。									
H24実施内容	測量設計業務 1式 用地測量調査業務 1式										

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
	活動指標	道路改良延長	m	目標 実績	目標 実績	0.0 0.0	60.0	12.0	
成果指標	道路整備による作業進捗	%	目標 実績	目標 実績	20.0 20.0	80.0	100.0	事業効果を高めるため短期間での事業完了に努める(執行事業費/総事業費)	

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
	[収入]	使用料・手数料							
		国費(補助率)							
		県費(補助率)							
		地方債		2,300	8,500	2,800			道路橋りょう整備事業費
		その他							
	合計(A)	0	2,300	8,500	2,800	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
	[支出]	測量委託料		1,472					
		工事費			9,000	3,000			
用地取得費			1,153						
その他事務経費									
小計(B)		0	2,625	9,000	3,000	0	0	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費	正規職員	人数	0.1人	0.5人	0.5人	人	人	人	
	人件費		0	578	2,889	2,889	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	
	人件費								
小計(C)	0	578	2,889	2,889	0	0	0		
合計(D=(B+C))	0	3,203	11,889	5,889	0	0	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	0	903	3,389	3,089	0	0	0	
	(うち繰越金)		1,153						
	※前年度比	—	903	2,486	△ 300	△ 3,089	0	0	
対象者あたり一般財源充当額									

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	通行の安全が図れないため、生活道路としての機能が失われる。	(概ね)順調	
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
	事業効果を高めるため、短期間での事業完了に努める。		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	左記改善策への取組状況		
	【状況】 【詳細】		
現時点における課題及び課題に対する改善策	用地売買契約手続きが完了しており、現在、法務局で登記処理中である。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	内田 泰成	現状維持	本市道は、新堂小平地区から県道伊賀甲南線へ至る生活道路として整備が必要であり、費用対効果による工法検討、適切な工期設定に努め、早期に効果が出るように取り組んでいく。

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分コード	01	08	02	03	908	58
	事業名	2533 子延猿野線道路改修工事	所属	191000	建設部建設2課 事業推進係	連絡先(記入者) 森中 徹 43 - 2329						
	基本施策	50 市内道路網を機能的に強化する										

概要	事業概要	市道子延猿野線の上阿波地区(子延区)区間は、既設側溝の老朽化が著しく、また各所で漏水も見られることから側溝整備を行う。 事業概要 施工延長 L=100.0m						事業期間 平成 24 年度 ~ 平成 29 年度			
	根拠法令・要綱等	道路法、道路構造令、アスファルト舗装要綱				審議会・委員会等					
	補助金支出	無 ※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号 1 2			
	対象(誰を、何を)	市道利用者、特に上阿波地区(子延区)の住民				※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	道路排水の機能向上と路肩整備を行うことで、道路排水の機能回復と生活道路として安心して通行ができる。									
H24実施内容	側溝改修工事 L=19.5m										

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
	活動指標	側溝改修延長	m	目標 実績	目標 実績	20.0 19.5	20.0	20.0	
成果指標	側溝整備による作業進捗	%	目標 実績	目標 実績	20.0 20.0	40.0	60.0	事業効果を高めるため短期間での事業完了に努める(執行事業費/総事業費)	

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
	[収入]	使用料・手数料								
		国費(補助率)								
		県費(補助率)								
		地方債		800	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	道路橋りょう整備事業費
		その他								
	合計(A)	0	800	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]	工事費		924	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	
		その他事務経費								
小計(B)		0	924	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
人件費		正規職員	人数	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	
		臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	
	人件費		1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155		
合計(D=B+C)	0	2,079	2,455	2,455	2,455	2,455	2,455	2,455	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	0	1,279	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255		
	※前年度比	—	1,279	△ 24	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	排水不良や路肩部に欠損等が生じ、生活道路として安全性が確保出来ない。	(概ね)順調	
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
	事業効果を高めるため、短期間での事業完了に努める。		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	左記改善策への取組状況		
	【状況】 【詳細】		
現時点における課題及び課題に対する改善策	現時点における課題: 本年度早期の完成 課題に対する改善策: 早期に工事発注する		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	内田 泰成	現状維持	既設側溝の老朽化が著しいことから、排水機能の回復が必要とされている。費用対効果による工法検討や適切な工期設定に努め、早期に事業効果が出るように取り組んでいく。

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分	01	08	02	03	908	57
	事業名	2532 愛田新堂停車場線道路改良事業	所属	191000	建設部建設2課 事業推進係	連絡先(記入者)	森中 徹 43 - 2329					
	基本施策	50 市内道路網を機能的に強化する										

概要	事業概要	市道愛田新堂停車場線は、愛田集落から県道伊賀大山田線へ通じる重要な生活道路です。しかしながら、現況は歩道も無く、急カーブで見通しが悪いことから、道路を拡幅し曲線部を緩和する。 事業概要 施工延長 L=45.0m						事業期間		平成 25 年度 ~ 平成 26 年度	
	根拠法令・要綱等	道路法、道路構造令、アスファルト舗装要綱				審議会・委員会等					
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号		1 2
	対象(誰を、何を)	愛田集落から県道伊賀大山田線へアクセスする人				※口 対象 件数	単位	H24実績	H25見込	H26目標値	H27目標値
	成果(どうする)	視距が広がることで自動車、歩行者ともに安心して通行ができる。特に出勤時には交通の流れがスムーズになり、生活道路としての機能も向上する。									

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明
			H24	H25	H26	H27	
	活動指標	道路改良延長	m		25.0	20.0	
成果指標	道路整備による作業進捗	%		62.5	100.0		事業効果を高めるため短期間での事業完了に努める(執行事業費/総事業費)

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。										
	項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)		
	[収入]	使用料・手数料									
		国費 (補助率)									
		県費 (補助率)									
		地方債			5,000	3,000					道路橋りょう整備事業
		その他									
	合計(A)	0	0	5,000	3,000	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)		
	[支出]	測量設計委託料			800						
		工事費			4,500	3,000					
		その他事務経費									
		小計(B)	0	0	5,300	3,000	0	0	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
		人件費	人数	人	0.5 人	0.5 人	人	人	人		
		人件費	0	0	2,889	2,889	0	0	0		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人				
	人件費	0	0	2,889	2,889	0	0	0			
合計(D=(B+C))	0	0	8,189	5,889	0	0	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)			
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	0	0	3,189	2,889	0	0	0			
	※前年度比	—	—	3,189	△ 300	△ 2,889	0	0			
	対象者あたり一般財源充当額										

企画した背景、状況変化見通し、市民意見等			
新たに企画した背景は何か?	取り巻く状況は、今後どのように変化していくか?(見通し)	関係者からどのような意見や要望が寄せられているか?	どのような状態になれば完了とみなすか? また、その目安の時期は?
本市道は、愛田集落から県道伊賀大山田線へ通じる重要な生活道路であるが、現況は歩道も無く、急カーブで見通しが悪いため、通行者の安全性が危惧されている。	道路の拡幅整備を行うことで、より安全に道路を利用することができる。	急カーブで見通しも悪いため過去には事故も発生しており、改善について要望が寄せられている。	曲線部が緩和され、十分に視距が確保される。平成26年度末を事業完了予定年度とする。

事前評価	
必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業 特記事項
有効性	2. 基本施策の目的を実現するために事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。 生活道路を整備し、より安全に道路を利用することができる。 特記事項
効率性	6. コストに見合った効果が見込める。 視距改良により、自動車・歩行者の交通安全確保を図る。 特記事項
事業実施に対する担当課長の意見	担当課長氏名 内田 泰成 本市道は、愛田集落から県道伊賀大山田線へ至る生活道路(主要)であるが、カーブで見通しが悪く事故等が懸念されることから視距改良等により通行者の安全を確保することは最も必要である。費用対効果による工法検討や適切な工期設定に努め、早期に効果がでるよう取り組んでいく。

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分コード	01	08	02	03	908	59
	事業名	2534 西谷尻平田線道路改良事業	所属	190500	建設部建設1課 事業推進係	連絡先(記入者) 赤尾 隆司 43-2323						
	基本施策	50 市内道路網を機能的に強化する										

概要	事業概要	市道西谷尻平田線は幅員が2mと狭く、JR線路で行き止まりとなっており、住民生活に支障をきたしていることから、改良するものである。伊賀市平田地内 計画延長L=170m 幅員W=4.0m 総事業費8,190千円						事業期間 平成 25 年度 ~ 平成 25 年度			
	根拠法令・要綱等	道路構造令、アスファルト舗装要綱				審議会・委員会等					
	補助金支出	無 ※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号			
	対象(誰を、何を)	市道西谷尻平田線を利用し、平田地区内へアクセスする人				※対象件数	単位	H24実績	H25見込	H26目標値	H27目標値
	成果(どうする)	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路として利用しやすくなる。									

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明
			H24	H25	H26	H27	
	活動指標	道路改良延長	m		170		
成果指標	道路整備による作業進捗	%		100.0			事業効果を高めるため短期間での事業完了に努める(執行済事業費/総事業費)

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。									
	項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
	[収入]	使用料・手数料								
		国費 (補助率)								
		県費 (補助率)								
		地方債			7,700					
		その他			490					
	合計(A)	0	0	8,190	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]	事業費								
		測量設計業務委託費			200					
		工事費			7,470					
		用地費			300					
		補償費								
		その他事務経費			220					
		小計(B)	0	0	8,190	0	0	0	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費	正規職員	人数	人	1.5 人	人	人	人	人		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人		
	人件費			8,666	0	0	0	0		
	小計(C)	0	0	8,666	0	0	0	0		
合計(D=(B+C))	0	0	16,856	0	0	0	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)		
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	0	0	8,666	0	0	0	0		
	※前年度比	—	—	8,666	△ 8,666	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

企画した背景、状況変化見通し、市民意見等			
新たに企画した背景は何か?	取り巻く状況は、今後どのように変化していくか?(見通し)	関係者からどのような意見や要望が寄せられているか?	どのような状態になれば完了とみなすか? また、その目安の時期は?
平成7年に地区内で火災が発生し、緊急車両(消防車、救急車)の通行にも支障をきたしていることから、改良するものである。	家屋等も密集しており車両が対向する待避所も無く、歩行者とすれ違うのも危険な状況である。	車両が、スムーズに通過できる新設道路の設置	工事完成 平成25年度

事前評価		
必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	特記事項
有効性	2. 基本施策の目的を実現するために事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	特記事項 地域住民の生活道路として安全、安心確保に寄与できる。
効率性	3. 本事務事業と類似の目的・手段をもつ事業がある。	特記事項 臨時地方道整備事業と連携して市道の道路改良率の向上に努めたい。
事業実施に対する担当課長の意見	担当課長氏名 中井 秀幸	復員が狭く、緊急車両の通行にも支障をきたしていることから本工事を行うものである。